

見守り
新鮮情報



少しずつ ゆっくりとかんで、 餅での窒息事故を防止!

事例1 自宅で餅を食べていたところ、のどに詰まらせた。苦しんで数分で意識を失い、救急車を呼んだ。救急隊により餅は取り除かれたが、死亡した。(80歳代)

事例2 朝食に食べた餅がのどに詰まり、反応がなくなった。家族が救急車を呼び、口の中から餅を取り出した。救急隊が到着した時は、呼吸はできていたが異物が残っていたため取り除いた。病院に到着した時には意識が回復し、他に異常がないことが確認されたため、帰宅となった。(80歳代)

ひとこと助言

周りの人も見守って!



高齢になると、かむ力や飲み込む力が弱くなるため、特に餅を食べる機会が増える年末年始は、以下の点に注意して窒息事故を防ぎましょう。

- 餅を食べやすい大きさに小さく切っておきましょう。
- あらかじめお茶や汁物を飲んでのどを潤しておきましょう。
- ゆっくりとよくかんで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- 高齢者と一緒に食事をする際は、少しずつ口に入れているか、しっかりかんでいるかなど食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第501号 (2024年12月12日) 発行：独立行政法人国民生活センター

柏市消費生活センター

相談専用電話 7164-4100

柏市柏下73番地 中央体育館管理棟1階

○月～金曜日 午前9時～午後4時30分

○毎月第3土曜日 午前9時～午後4時30分※

※電話相談のみ

○祝日・年末年始を除く

柏市消費生活コーディネーター

各ふるさと協議会の推薦で市長の委嘱を受け、消費者啓発活動をしています。何かございましたら声をおかけください。

<メモ>